

きずな



平成29年9月4日
我孫子市少年センター便り第149号

我孫子市少年指導員連絡協議会 会長 飯山初美
我孫子市 少年センター センター長 横山悦子
電話 7185-1367 FAX 7182-5867

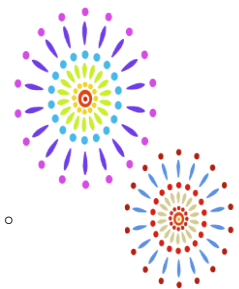
防災の大切さについて考えよう

いつの間にか日の光も弱くなり、気がつけば朝晩の涼しさに秋の訪れを感じるようになりました。学校では2学期が始まりました。子ども達はこの夏休みにたくさんの体験や経験を積み、大きく成長したことでしょう。



9月は各地域や学校で防災訓練が予定されています。自然災害はいつどこで起きるかわかりません。近年、短時間に局地的に雨を降らせる「集中豪雨」や、急速に発達する「爆弾低気圧」の発生が増えています。台風のシーズン到来に備え、避難情報や避難行動の確認をしておきましょう。

さて、7月、8月は、各地区の祭礼に加え、手賀沼花火大会が盛大に開催されました。多くの見物客が我孫子市を訪れ、手賀沼公園は人で溢れました。



各地区の少年指導員は、夏休みに集中して防犯パトロールを実施しました。青少年が犯罪に巻き込まれることがないように、人が多く集まりやすいショッピングセンターやお店、死角の混在する公園や空き地などを中心に行いました。

特に大きな問題はありませんでしたが、犯罪抑止のために、見守り活動を行うことの大切さを感じています。

地域の安全・安心のため、夜遅くまで、見回りをしてくださった少年指導員の皆さま、ありがとうございました。

街頭指導実施状況

実施時期：4月～8月末
パトロール回数：延べ 43回
参加少年指導員数：延べ 305人

〈街頭指導時における少年の行為・学識別状況〉

区別	種別		小学生		中学生		高校生		他学生		その他		合計
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	
怠学指導													
帰宅指導	3	2	1	2	2						6	4	10
喫煙													
飲酒													
たむろ													
自転車二人乗り													
自転車無灯火					2				1		3		3
その他	1	1									1	1	2
合計	4	3	1	2	4				1		10	5	15

子ども達を事件や事故から守るために、これからも地域で子ども達の様子を見守っていただけるようお願いします。特に自転車の二人乗りや無灯火など見かけましたら、ぜひ声かけをお願いします。

第48回 千葉県青少年補導（委）員大会 開催 ～県下17市の補導員が集結しました！～

7月1日（土）流山市文化会館において、千葉県青少年補導（委）員大会が開催されました。この大会は、県下17市の持ち回りで毎年開催されています。

平成31年度は、我孫子市での開催になります。丁度、50回の節目の年にあたるので、皆さんの記憶に残る大会にしたいと思っています。

本大会の主な目的は、補導員（指導員）が行う健全育成活動の情報交換と研修です。活動事例の発表では、開発が進み、急激な人口増により変化の激しい流山市に対応した活動報告が行われました。



発表者の「青少年とかかわり続ける」という言葉が印象的でした。

それに続いて、非営利活動法人「SARS千葉」代表 千葉マリア氏による「薬物依存症の回復に向けて」と題した記念講演が行われました。

『チバマリア（依存症リハビリ施設）』は、依存症からの回復という共通の思いでつながった仲間達が、共に暮らし、共に考え、支え合い社会復帰を目指す女性のための施設です。薬物やアルコールなどの物質依存、摂食障害、ギャンブル依存などで苦しんでいる仲間たちの治療プログラムが用意されています。

講演の終わりに、入所されている5名の方が、現在の思いに加え、「これからどうするのか、どうしたいのか」という未来を語ってくださいました。リハビリプログラムの中で、一人ひとりが回復され、将来を見つめて生活をしていることが伝わり、胸が熱くなりました。

また、大会開始前に行われた、流山市立流山小学校の音楽部の合唱は、みごとでした。天使のような愛らしい歌声に、会場には拍手が鳴り響きました。

第1回東葛ブロック研修会開催

7月13日（木）、東葛飾研修所において、第1回東葛ブロック研修会が開催されました。

野田警察署・生活安全課 田村 敬祐様より、「野田市の補導活動」についてのご講演をいただきました。

その後、野田・流山・松戸・鎌ケ谷・柏・我孫子の6地区の代表者が6ブロックに分かれて、日頃の少年指導員としての活動に関する情報交換を行いました。



たとえ市は違っても、子ども達を思う気持ちや愛情は変わらないと思いました。



「こども110番の家」は、市のPTA連絡協議会が平成9年12月に提案創設したもので、近年の社会環境の悪化や人間関係の希薄化等に伴い、「子どもを変質者から守る」「安心して生活できる街づくりを推進する」ことを目的としています。また、この活動には、子どもの避難場所を確保するというだけではなく、市民全体で子ども達を見守ろうという意識の高揚を図る目的もあります。

我孫子市としても、この趣旨に賛同し、少年センターを事務局として、学校や防犯協議会等と連携して、地域に理解と協力を呼びかけています。

ご協力いただける方は、居住地区の小中学校を通して、少年センターへお申し出ください。